

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	北海道横断自動車道 網走線 足寄～北見		事業区分	高速自動車国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局	
起終点	自：北海道中川郡本別町西仙美里 至：北海道北見市北上				延長	79.0km	
事業概要							
北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、夕張市、清水町、本別町等を経由して根室市・網走市に至る延長約694kmの高速自動車国道である。 このうち足寄～北見は、高速ネットワークの拡充によるオホーツク圏と道央圏・十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化、物流の効率化等の支援を目的とした、足寄インターチェンジから北見西インターチェンジに至る延長79.0kmの事業である。							
H15年度事業化		H一年度都市計画決定		H17年度用地補償着手		H18年度工事着手	
全体事業費		約1072億円	事業進捗率		58%	供用済延長	28.0km
計画交通量		3,700～4,700台/日					
費用対効果 分析結果		B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 727/1,031億円 事業費：599/903億円 維持管理費：128/128億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 1,134/1,134億円 走行時間短縮便益：889/889億円 走行経費減少便益：177/177億円 交通事故減少便益：69/69億円		基準年 平成26年
感度分析の結果							
事業全体及び残事業について感度分析を実施							
【事業全体】 交通量：B/C=1.003～1.3(交通量±10%) 事業費：B/C=1.1～1.2(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.03～1.2(事業期間±20%)							
【残事業】 交通量：B/C=1.4～1.8(交通量±10%) 事業費：B/C=1.5～1.7(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.7(事業期間±20%)							
事業の効果等							
事業の必要性及び効果							
①主要都市間の利便性向上 ・帯広市と北見市間の所要時間が夏期で23分（冬期は36分）短縮し、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。							
②救急搬送の安定性向上 ・陸別町から北見赤十字病院（第3次医療施設）までの所要時間が夏期で14分（冬期は20分）短縮されるなど、救急搬送の安定性向上が期待される。							
③農産物の流通利便性向上 ・北見市から苫小牧港及び十勝港までの所要時間が夏期で23分(冬期は36分)短縮されるなど、農産物（ばれいしょ59.6千t/年、たまねぎ35.6千t/年）の流通利便性向上が期待される。							
④十勝産飼料の流通利便性向上 ・十勝産飼料のオホーツク地域等への出荷拡大等が期待される。							
⑤日常生活圏中心都市への利便性向上 ・北見市や帯広市への所要時間が短縮し、日常活動圏中心都市への利便性向上が期待される。							
⑥観光地への利便性向上 ・道東観光の主要ルートとして、知床五湖やオホーツク流氷館等へのアクセス性向上が期待される。							
⑦災害時の緊急輸送ルートの強化 ・内陸部の道路網が強化され、道路やネットワークの多重性が確保されることで、被災した地域などからの迅速な救急搬送や、救援物資等の輸送の確実性向上が期待される。							
⑧CO ₂ 排出量の削減 ・自動車からのCO ₂ 排出量3,816（t-CO ₂ /年）の削減が期待される。							

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

北見市を始めとする１市６町の首長等で構成される「北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。

知事の意見：

高速ネットワークの拡充によるオホーツク圏と道央・十勝・釧路圏の連絡強化により、地域間交流の活性化や物流の効率化が図られるなど、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。

なお、事業の実施にあたっては、環境への影響を最小限にとどめ、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努め、着手済み区間の早期完成を図るとともに、「当面着工しない区間（足寄～陸別町陸別）」にも早期に着手するようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成１８年に「緊急に整備すべき区間」を設定し、事業を進めている。

平成２６年に整備計画が変更され、陸別町陸別～陸別町小利別間の事業を再開。

[事業化以降の周辺地域の社会情勢の変化]

[高速交通ネットワークの整備]

- ・平成１５年 ６月 北海道横断自動車道 池田ＩＣ～足寄ＩＣ開通
- ・平成１５年 ６月 北海道横断自動車道 本別ＪＣＴ～本別ＩＣ開通
- ・平成１９年１０月 北海道横断自動車道 トマムＩＣ～十勝清水ＩＣ開通
- ・平成２１年１１月 北海道横断自動車道 本別ＩＣ～浦幌ＩＣ開通
- ・平成２５年 ３月 北見道路 北見西ＩＣ～北見東ＩＣ開通
- ・平成２５年１２月 北見道路 北見北上ＩＣ、北見川東ＩＣ追加ＩＣ開通
- ・平成２７年 ３月 北海道横断自動車道 浦幌ＩＣ～白糠ＩＣ開通
- ・平成２７年１１月 北海道横断自動車道 訓子府ＩＣ～北見西ＩＣ開通
- ・平成２８年 ３月 北海道横断自動車道 白糠ＩＣ～阿寒ＩＣ開通
- ・平成２８年 ３月 釧路外環状道路 釧路西ＩＣ～釧路東ＩＣ開通
- ・平成２９年１０月 北海道横断自動車道 陸別小利別～訓子府ＩＣ開通

[市町村合併の状況]

- ・平成１７年１０月 釧路市、阿寒町及び音別町が合併し、釧路市が誕生
- ・平成１８年 ３月 北見市、端野町、留辺蘂町及び常呂町が合併し、北見市が誕生
- ・平成１８年 ３月 女満別町及び東藻琴町が合併し、大空町が誕生

[公共交通の状況]

- ・平成１８年 ４月 ふるさと銀河線（池田～北見間）廃線

[その他]

- ・平成２１年 ５月 シーニックバイウェイ北海道
「十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート」指定

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成１８年度に工事着手して、用地進捗率６１％、事業進捗率５８％となっている。（平成２９年３月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

<足寄ＩＣ～陸別ＩＣ>

事業の着手に至っていない。

「工事は、北海道足寄郡足寄町から同郡陸別町陸別までの区間について、当面行わない。」とされている。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等の変更はないが、引き続きコスト縮減に取り組んで行く。

対応方針

事業継続

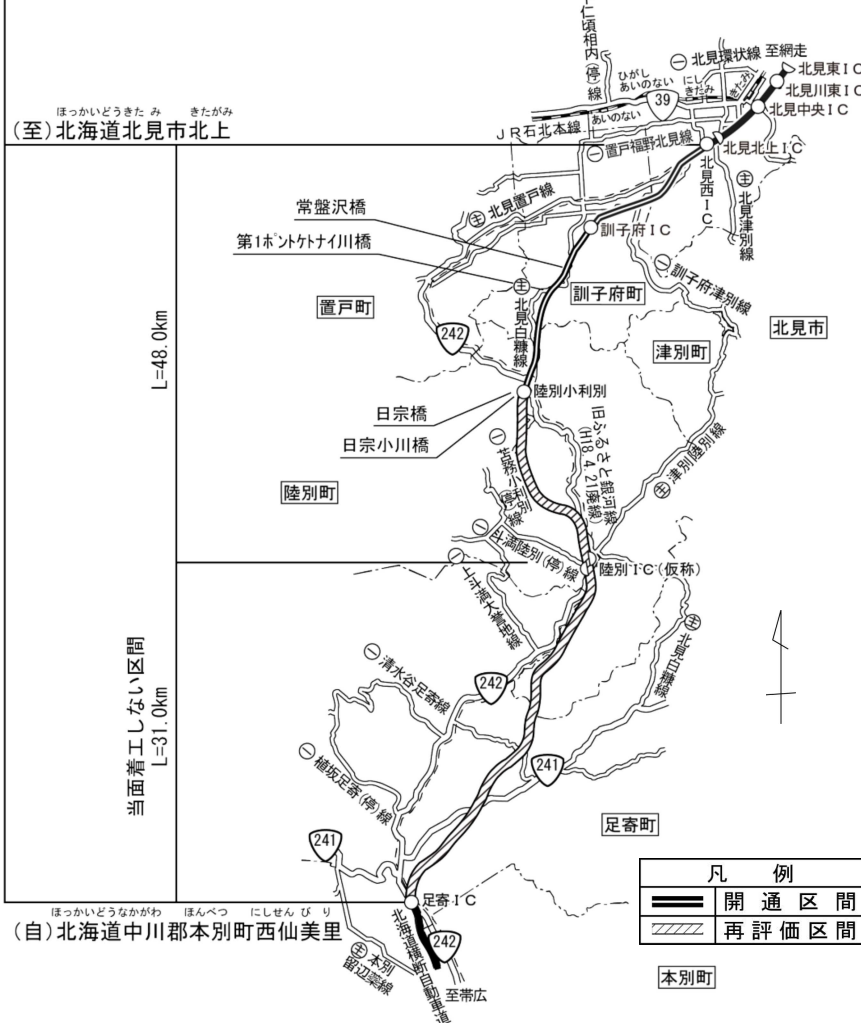
対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



北見道路
北海道横断自動車道 網走線 足寄～北見 L=79.0km



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。